

婚姻届

平成 年 月 日届出

神奈川県厚木市長 殿

受理 平成 年 月 日 第 号		発送 平成 年 月 日				
送付 平成 年 月 日 第 号		神奈川県厚木市長 印				
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知

(1)	(よみかた) 氏 名	夫 になる 人		妻 になる 人	
	生 年 月 日	明治 大正 昭和 平成 年 月 日		明治 大正 昭和 平成 年 月 日	
	住 所 (住民登録をしているところ)	番地 番 号		番地 番 号	
(2)	(よみかた) 世帯主 の氏名	(よみかた) 世帯主 の氏名			
	本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いてください)	番地 番			
(3)	父 母 の 氏 名 父 母 と の 続 き 柄 (他の養父母はその欄に書いてください)	父	母	男	女
	婚姻後の夫婦の氏 新しい本籍	☐ 夫の氏 ☐ 妻の氏	新本籍(左の☑の氏の人が入すに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 番地 番		
(4)	同居を始めたとき	昭和 平成 年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)			
(5)	初 婚 ・ 再 婚 の 別	夫 ☐ 初婚 再婚 (☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日) 妻 ☐ 初婚 再婚 (☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日)			
(6)	同居を始める前の 夫妻のそれぞれの 世帯の主な仕事と	夫 ☐ 妻 ☐ 1 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2 自由業・商業・サービス業等を個人で経営している世帯 3 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 5 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6 仕事をしている者のいない世帯			
(7)	夫妻の職業	(国勢調査の年 平成 22 年 の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 妻の職業			
(8)	その他				
届 出 人		夫		妻	
署 名 押 印		印		印	
事件簿番号		住所を定めた年月日		連絡先	
		夫 M S 年 月 日 T H		電話 () 番	
		妻 M S 年 月 日 T H		自宅・勤務先・呼出 方	

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

この届出は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにして下さい。
届出する日が日曜日や祝日でも届けることができます。この場合、宿直等で取扱うので、前日までに戸籍担当において仮審査を受けてください。

届書は1通でさしつかえありません。

証 人	
署 名	印
押 印	印
生 年 月 日	明 昭 年 月 日 太 平
住 所	番地 番 号
本 籍	番地 番

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

父母が今婚姻しているときは、母の氏は書かないで、名だけを書いてください。
養父母については、その他欄に同じように書いてください。

☐には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。
外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、
新しい戸籍が作られますので、希望する本籍を書いてください。

夫(妻)の氏を称する婚姻で夫(妻)がすでに筆頭者であるときは書かないでください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。
内縁のものは含まれません。

- ◎ この届出書を本籍地でない役場に出すときは、
戸籍謄本または全部事項証明をお持ちください。
- ◎ 届出人の印をご持参ください。
- ◎ 署名は必ず本人が自署してください。
- ◎ 印は各自別々の印を押してください。

夫	備考
確認 免許・パスポート	なし
通 住カ・他	
年 月 日	来庁せず

妻	備考
確認 免許・パスポート	なし
通 住カ・他	
年 月 日	来庁せず

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく統計
第5号、厚生労働省所轄)にも用いられます。

上記の事項は、届書に記載があることを証明する。

平成 ●● 年 ●● 月 ●● 日

神奈川県厚木市長 ●● ●●

印